

平成 25 年 8 月 3 日  
中国地方整備局

平成 25 年 7 月 28 日 豪雨による中国地方整備局管内の災害応急対策状況及び TEC-FORCE 活動状況について

●国道 191 号の応急対策

- ・国道 9 号山口市阿東地福上（547.4～549.0km）路面冠水により 28 日 10 時 20 分に通行止め。28 日 19 時 07 分に開放。
- ・国道 9 号益田市神田町三星地内～津和野町日原地内で規制雨量に達したため通行止め。28 日 18 時 00 分に開放。
- ・国道 9 号山口市阿東地福下箇所にて路肩崩壊のため、29 日 12 時 00 分から通行止め。13 時 30 分に片側通行。  
30 日 20:00～翌 5:30 路肩崩落部の大型土のう 120/120 袋設置完了。  
31 日 8:00～ 路肩崩落部のブルーシート設置及び大型土のう製作開始。
- ・国道 191 号（127.0～143.0km）で冠水、土砂崩落により 7 月 28 日 11:40 から通行止め。

被災状況は道路冠水 4 箇所、トンネル冠水 2 箇所、土砂崩落 9 箇所、道路崩落 1 箇所、倒木 1 箇所、放置車両 19 台。

国道 191 号道路啓開作業のため、16 時 30 分に山口照明車 2 台を萩国道出張所へ、20 時 00 分に浜田照明車 1 台を萩市須佐地内へ派遣指示し、浜田照明車は 29 日 2 時 00 分に帰還。

29 日 5 時 30 分の状況は、通行止め区間 130.0～135.0k。道路崩落 1 箇所、土砂崩落 2 箇所。その他箇所については、道路啓開（1 車線確保）または復旧済み。16 時 00 分現在で放置車両 0 台。

30 日 8 時 00 分応急復旧開始。

31 日 8:00 昨日に引き続き伐採、水路内土砂撤去実施。

31 日 11:20 近畿地整の照明車 1 台が萩市須佐の現場に到着。

31 日 15:35 中国技術事務所より萩市須佐に向けて対策本部車 1 台を派遣し、19:05 現地到着。

31 日 16:00 伐採完了。水路内土砂撤去中。

8 月 1 日 8:00 現在、水路内の土砂撤去中。完了後、迂回路及び盛土予定。

8 月 1 日 15:00 仮設カメラ設置。

8 月 1 日 16:00 現在、迂回路の法尻に土嚢を設置中。

8 月 2 日 8:00 現在、迂回路の盛土施工中。崩壊部のモルタル吹き付け施工中。

● TEC-FORCE 派遣等 29 日～

中国地方整備局より

・ヘリコプター上空調査

29 日 あいらんど号、きんき号による調査。地整職員 7 名、島根県職員 1 名、山口県職員 2 名搭乗。

30 日 あいらんど号による調査 地整職員 4 名搭乗。

31 日 あいらんど号による調査 地整職員 2 名、島根県職員 3 名搭乗。

TEC-FORCE 被災状況調査班

【中国地方整備局】

指令班（2 班）、河川班、砂防班、道路班、広報班の計 6 班 23 名派遣

29 日 8：00 本局災害対策室集合（防災課より説明、出動準備）

9：00 出発式

11：40 砂防班、広報班 山口国道維持（出）着。情報収集。

11：50 指令班① 山口県庁着 調査箇所棟調整。

11：50 道路班 萩国道（出）着。国道 315 号道路被災状況確認。

12：20 河川班 山口国道維持（出）着。情報収集。

12：25 指令班② 島根県益田県土整備事務所着。調査箇所等調整。

15：50 指令班①、萩市から道路調査の依頼あり。各班と分担調整。

30 日 河川班、砂防班、道路班は萩市の須佐地区の被災状況調査を実施中。

指令班①、②については、引き続き各県、市、地整 TEC-FORCE との調整を実施。

河川班：10：00 萩市須佐総合事務所で打合せ後、調査開始。被災延長は 5 km 程度。

砂防班：10：00 萩市須佐地区弥富箇所を調査するが、土石流の発生は見られない。→河川の被災状況調査を実施

道路班：8：30 出張所集合。県より敷地調査結果内容を県より入手し、10：25 から国道 315 号を調査実施。応急復旧方法検討、概算額算出

指令班①：17：00 から津和野町で支援内容打合について町建設課、リエゾン、近畿 TEC 指令班と打合せを行う。

31 日 河川班、砂防班

8：00 から萩市須佐地区の河川被災状況調査を実施。

道路班

県道宇田須佐線の啓開状況調査実施

国道 315 号概算額算出作業

- 8月1日 河川班：萩市須佐総合事務所管内の河川被害状況調査を実施。  
砂防班：萩市須佐総合事務所管内の河川被害状況調査を実施。  
道路班：萩市須佐（唐津）地区の国道 315 号関係の被害状況調査を実施。  
第2陣として、河川班（5班）、砂防班（1班）、道路班（4班）、広報班（2班）の計12班43名を派遣（増強）。（9：00本局出発）  
現地到着後、先遣の指令班①②と調査箇所等について打合せを実施。
- 8月2日 河川班：5班とも萩市須佐総合事務所管内の河川被害状況調査を実施。  
砂防班：山口県須佐地区、阿武地区砂防施設点検、被害状況調査を実施。  
道路班：萩市須佐（唐津）地区の国道 315 号関係、宇田須佐線と萩津和野線の大光寺橋調査、津和野町の滝元線、瀧畑線、名賀地区の道路被災状況調査を実施。
- 8月3日 第3陣として、指令班（2班）、河川班、砂防班、道路班、広報班の計6班23名を派遣し（9：00本局出発）、現地到着後、先遣の第1陣と3陣の各班で調査箇所等について打合せを実施。第1陣は帰還。  
河川班：萩市須佐地区、津和野町内の河川被害状況調査を実施予定。  
砂防班：阿武町地内砂防施設点検、被害状況調査を実施予定。  
道路班：萩市内の萩津和野線（県道 13 号）の大光寺橋被災記録整理、須佐湾高山尾線（県道 305 号）被害状況調査、津和野町名賀地区の河川・道路被災状況調査を実施予定。

#### 【近畿地方整備局】

- ・TEC－FORCE 被災状況調査班、応急対策班等  
7班 全26名。照明車5台、対策本部車1台  
→6班 全24名。
- 29日11：00 中国道安富 PA に集合。
- 17：00 島根県益田県土整備事務所に到着。災害対策会議参加。
- 30日 9：30 高津川の直轄境から本川上流へ向け、被災状況調査に着手（5班体制）。
- 31日 指揮班・津和野町役場日原第2庁舎において、現地調査に入る前の調整を行う（調査箇所確認・台帳・図面等の受け取り）  
8：50 津和野土木事業所に集合し、昨日の調査進捗状況等について打合せ・打ち合わせ終了後  
河川2班は高津川での残調査を実施。

その他4班（道路1,2,3班、河川1班（砂防班含む））は津和野町役場日原第二庁舎に集合し、打ち合わせ後、現地調査に着手。

12:30 道路班が津和野町所管の道路102.5km、河川14.8kmの調査開始。

8月1日 河川班：高津川上流の津和野町木部地区の調査を実施。

道路班：津和野町畑迫箇所の調査、津和野小川地区の調査を実施。

機械班：国道191号 萩市須佐で照明車稼働を7月31日19:30～8月1日夜明けまで稼働。その後、近畿地整に17:00帰還。

8月2日 河川班：高津川支川被災調査、引き続き木部南地区の被災調査を実施。

道路班：木部北地区の被災調査を実施、津和野・小川地区、畑迫地区の被災調査を実施。

8月3日 河川班：高津川支川被災調査、引き続き木部南地区の被災調査を実施予定。

道路班：木部北地区の被災調査を実施、津和野・小川地区、畑迫地区の被災調査を実施予定。

#### 【四国地方整備局】

・TEC—FORCE 被災状況調査班、応急対策班等派

6班 全25名。

29日14:00 四国本局発。

17:25 中国地方整備局到着。本部にて打合せ。

30日 7:00 山口県庁、萩市むつみ総合事務所、同市須佐総合事務所へ向け出発。

9:15～ 県庁で打合せ。各出先事務所で打合せ。

10:40 道路班調査開始。特に道路班は、（県より早く応急復旧をまとめてほしいとの要望を受けており、）日没間近までしっかり、現地調査を行うとのこと。

11:15 河川班、砂防班調査開始。

31日 道路班1：萩市むつみ地区 現地調査及び資料整理（災害概要調査）。

道路班2：萩市須佐地区 現地調査及び資料整理（災害概要調査）。

河川班、砂防班：萩市むつみ地区 現地調査及び資料整理（災害概要調査）。

- 広報班：現地調査班に随行。  
総合指令班：山口県庁にて TEC-FORCE 支援。
- 8 月 1 日 道路班 1：萩市弥富地区の現地調査及び資料整理（災害概要調査）。  
道路班 2：萩市須佐地区の現地調査及び資料整理（災害概要調査）。  
河川班、砂防班：萩市むつみ地区資料整理（災害概要調査）。  
広報班：現地調査班（萩市須佐、弥富地区を予定）に随行。  
総合指令班：山口県庁にて TEC-FORCE 支援。
- 8月2日 道路班 1 班：萩市弥富地区現地調査及び資料整理（災害概要調査）。  
道路班2班：萩市弥富地区現地調査及び資料整理（災害概要調査）。  
河川班：萩市田万川地区現地調査及び資料整理（災害概要調査）。  
砂防班：萩市むつみ地区現地調査及び資料整理（災害概要調査）。  
広報班：現地調査班に随行。  
総合指令班：山口県庁にて TEC-FORCE 支援。
- 8月3日 道路班 1 班：萩市弥富地区現地調査及び資料整理（災害概要調査）  
予定。  
道路班2班：萩市須佐地区現地調査及び資料整理（災害概要調査）  
予定。  
河川班：萩市田万川地区現地調査及び資料整理（災害概要調査）  
予定。  
砂防班：萩市むつみ地区現地調査及び資料整理（災害概要調査）  
予定。  
広報班：現地調査班に随行予定。  
総合指令班：山口県庁にて TEC-FORCE 支援予定。

#### 【九州地方整備局】

- ・ TEC－FORCE 被災状況調査班、応急対策班等
- 9 班 全 3 6 名。照明車 2 台、排水ポンプ車 2 台、衛星通信車 1 台、ku-SAT  
1 台、待機支援車 1 台
- 8 班 全 3 4 名。衛星通信車 1 台、ku-SAT 1 台、待機支援車 1 台
- 2 9 日 1 0：3 5 九州本局発。
- 1 3：1 5 山口河川国道へ到着。  
排水ポンプ車 2 台、待機支援車 1 台は防府国道維持（出）  
へ移動。照明車 1 台は萩国道（出）へ。照明車 1 台山口  
国道維持（出）へ。
- 2 0：3 0 衛星通信車 1 台を萩市須佐箇所では稼働開始。継続稼働中。
- 2 0：1 5 照明車 1 台を山口市阿東町に派遣し 2 3：0 5 まで稼働。

- 30日 9:00 萩市の田万川地区等の被災状況調査実施予定。  
 県道332号、県道14号、萩市田万川支所の周辺と大きくは3箇所では活動開始。
- 31日 河川班②：県道14号 高岩橋の仮復旧工法の検討、成果品引き渡し予定。  
 道路班②：県道332号 十種ヶ峰の復旧工法の検討、成果品引き渡し予定。  
 河川班①、道路班①③、砂防班：萩市田万川総合事務所 管内の被災箇所調査を 継続。  
 情報通信班：国道191号 萩市須佐で衛星通信車稼働を継続。
- 14:00 九州地整からの排水ポンプ車2台、照明車2台の帰還を決定。  
 →18:40排水ポンプ2台、19:40照明車2台を九州地整（九州技術事務所）に帰還。
- 8月1日 ・河川班②：県道14号成果品引き渡しを実施。その後、萩市田万川総合事務所管内の被災箇所調査に合流。  
 ・道路班②：県道332号の復旧工法の成果品引き渡しを実施。その後、萩市田万川総合事務所管内の被災箇所調査に合流。  
 ・河川班①、道路班①③、砂防班：萩市田万川総合事務所管内の被災箇所調査継続。  
 ・情報通信班：国道191号 萩市須佐で衛星通信車稼働を継続。  
 ・17:00から中国地方整備局災害対策本部へ現地進捗状況の報告を実施。
- 8月2日 ・河川班①②、道路班①②③、砂防班：田万川総合事務所管内の被災箇所調査を継続。
- 8月3日 ・河川班①②、道路班①②③、砂防班：田万川総合事務所管内の被災箇所調査を継続予定。  
 ・砂防班は九州地整のヘリコプター「はるかぜ号」にて上空からの調査も実施予定。

●災害対策用資機材の支援等

- 8月1日 山口県から災害対策用資材提供の要請  
 内容：護岸洗掘部の応急対策のため大型土のう（約1t/袋）280袋を提供。  
 運搬用ダンプトラック17台、積込用クレーン2台使用。  
 場所：国道315号 山口県山口市阿東徳佐下

- 対応：浜田河川国道事務所
- ・ 8 月 2 日 山口県から災害対策用機械の支援要請  
内容：国道 3 1 5 号の応急対策時の夜間照明として照明車 2 台派遣。  
場所：国道 3 1 5 号 山口県山口市阿東徳佐下  
期間：8 月 2 日夜～8 月 6 日朝  
対応：三次河川国道事務所
  - ・ 8 月 2 日 8 月 1 日大雨による島根県から災害対策用機械の支援要請  
内容：国道 3 7 5 号の応急対策時の夜間照明として照明車 2 台派遣。  
場所：国道 3 7 5 号 島根県美郷町粕淵  
期間：8 月 4 日～  
対応：中国技術事務所、浜田河川国道事務所
  - ・ 8 月 2 日 山口県から災害対策用機械の支援要請  
内容：県道 3 1 0 号の道路路面の清掃として路面清掃車 1 台、散水車 1 台派遣。  
場所：県道 3 1 0 号（山口市阿東嘉年下～山口市阿東生雲東分）  
期間：8 月 6 日（予定）  
対応：広島国道事務所
  - ・ 8 月 2 日 津和野町から災害対策用資機材の支援要請  
内容：応急対策に必要な土のう製作のため、土のう製作用機器 8 個型 1 台、16 個型 1 台を搬送。  
場所：津和野町日原地区  
期間：8 月 3 日  
対応：中国技術事務所